

NPO法人市民活動情報センター主催

教育創生フォーラム

-人が幸せになる学びと教育の創生をめざして-

開会挨拶／趣旨説明

人が幸せになる学びと教育・各界人材育成
の創生をめざして

(2020年10月31日、オンライン開催)

NPO法人市民活動情報センター代表理事
愛知東邦大学経営学部准教授

今瀬 政司

開会挨拶

- 新型コロナウイルス感染拡大のため変更

- 2020年3月7日から10月31日に延期開催
- 市民会館(定員90名)から無観客開催・録画配信

- 登壇者、後援者、関係者の皆様

- ご協力、ご指導に深く御礼を申し上げます

- 会場参加の申込者の皆様

- 無観客開催となり、深くお詫びを申し上げます

教育創生フォーラムの開催趣旨①

- 多くの社会・経済問題が深刻化している
 - その問題の根源は「人」である
- また、
 - その問題を解決して社会・経済を発展させるのも「人」である

教育創生フォーラムの開催趣旨②

● 「人」の生きる力、働く力（人財力）

➤ 弱まる傾向にあるのではないか

➤ その成長・育成が課題

- 小中高校・大学等の教職員が

- 企業・行政・NPO等の人事担当者が

- 行政等の政策担当者が

⇒ 成長・育成の 方法・テクニックに悩んでいる

教育創生フォーラムの開催趣旨③

- 人は何のために学び・教育をするのか

教育創生フォーラムの開催趣旨④

- 人は何のために学び・教育をするのか



- 人が幸せになるため、人を幸せにするため

教育創生フォーラムの開催趣旨⑤

- 人は何のために学び・教育をするのか



- 人が幸せになるため、人を幸せにするため

- 幸せな家庭・社会生活を送るため
- 自らの夢・希望を叶えるため
- 社会・経済問題を解決し発展させる人が育つため
- 企業等の職員が幸せになり顧客を幸せにするため
- 一人一人自分らしく幸せになるため

教育創生フォーラムの開催趣旨⑥

- 小・中・高校／専門学校等

- 学びと教育 ⇒ 自身・他者が幸せになるため

- 大学等

- 学びと教育 ⇒ 自身・他者が幸せになるため

- 研究(卒論等) ⇒ 社会皆が幸せになるため

- ⇒ 次の学びと教育のため

- 企業・行政・NPO等

- 研修 ⇒ 社員・会社・顧客等が幸せになるため

教育創生フォーラムの開催趣旨⑦

- 人が幸せになるためには
 - 「夢」や「希望」が必要

教育創生フォーラムの開催趣旨⑧

- 人が幸せになるためには

- 「夢」や「希望」が必要



- 厳しい世の中でも

- 「世の中は捨てたものでない」と思える

- 「夢」や「希望」を描ける

教育創生フォーラムの開催趣旨⑨

- 人が幸せになるためには

- 「夢」や「希望」が必要



- 厳しい世の中でも

- 「世の中は捨てたものでない」と思える

- 「夢」や「希望」を描ける



「夢」や「希望」が描けるような「学び」と「教育」が必要

教育創生フォーラムの開催趣旨⑩

● 「教育改革」が叫ばれて久しい

- 教育制度の見直し、教育機関の整備
- 大学改革、学校改革
- 社会人育成、リカレント教育
- 地域連携、産学連携 等

教育創生フォーラムの開催趣旨⑪

● 「教育改革」が叫ばれて久しい

- 教育制度の見直し、教育機関の整備
- 大学改革、学校改革
- 社会人育成、リカレント教育
- 地域連携、産学連携 等



● 「方法・テクニック」の見直しが繰り返されてきた

教育創生フォーラムの開催趣旨⑫

● 「教育改革」が叫ばれて久しい

- 教育制度の見直し、教育機関の整備
- 大学改革、学校改革
- 社会人育成、リカレント教育
- 地域連携、産学連携 等




● 「方法・テクニック」の見直しが繰り返されてきた

- しかし、「人財力」が高まる方向が見えない
- 方法・テクニックに悩み続ける

教育創生フォーラムの開催趣旨⑬

- 優れた教育の「方法・テクニック」を用意できたから
 - 優れた教育制度を作ったから
 - 優れた教員・研究者・実務家をそろえたから
 - 優れた教育施設を作ったから

教育創生フォーラムの開催趣旨⑭

- 優れた教育の「方法・テクニック」を用意できたから
 - 優れた教育制度を作ったから
 - 優れた教員・研究者・実務家をそろえたから
 - 優れた教育施設を作ったから
- 
- 良い「学び」と「教育」ができるわけではない

教育創生フォーラムの開催趣旨⑮

- 「人が幸せになろう」、「人を幸せにしよう」
としてこそ、はじめて

教育創生フォーラムの開催趣旨①⑥

- 「人が幸せになろう」、「人を幸せにしよう」



としてこそ、はじめて

- 優れた教育の「方法・テクニック」が生きてくる
 - 優れた教育制度が生きてくる
 - 優れた教員・研究者・実務家が生きてくる
 - 優れた教育施設が生きてくる

教育創生フォーラムの開催趣旨①⑦

- 「人が幸せになろう」「人を幸せにしよう」



としてこそ、はじめて

- 優れた教育の「方法・テクニック」が生きてくる

- 優れた教育制度が生きてくる
- 優れた教員・研究者・実務家が生きてくる
- 優れた教育施設が生きてくる



- 良い「学び」と「教育」ができる

- 人が幸せになれる、人を幸せにできる

教育創生フォーラムの開催趣旨⑱

- 教育の「方法・テクニック」の見直しとともに、
今一度、原点に立ち返ることが必要

教育創生フォーラムの開催趣旨⑱

- 教育の「方法・テクニック」の見直しとともに、
今一度、原点に立ち返ることが必要



- 「人が幸せになる学びと教育」とは何か
 - それに向き合い
 - その目的を共有し合い
 - その実のある新たなあり方の検討、創生が必要

教育創生フォーラムの開催趣旨⑳

そこで、

- 「人が幸せになる学びと教育の創生」をめざして

各界の連携・協力のもと

「教育創生フォーラム」を開催する

私(今瀬)の3つの問題提起①

● 「人が幸せになる学びと教育の創生」をめざして

① 「**学ぶ目的(意義)**」を伝えることからの教育

- なぜそれを「学ぶ」必要があるのか
- その「学び」は何の役に立つのか
- 学ぶことで自分と誰が幸せになるのか
- なぜ入学し卒業することが必要か

私(今瀬)の3つの問題提起②

● 「人が幸せになる学びと教育の創生」をめざして

② 学びと教育による「成績」プラス「成長」の評価

➤ 入学時の「成績」評価

➤ 学びの「成績」評価(単位・卒業認定)

➤ 教育の「満足度」評価

プラス

➤ 学びと教育による「成長」評価(総合力評価)

・ 具体策: 卒業論文の公表一般化

私(今瀬)の3つの問題提起③

● 「人が幸せになる学びと教育の創生」をめざして

③ 大学・学校教員の研究又は実務の「現役実績(兼務)」必須化

➤ 研究の実績と「新実績(継続・発展)」の必須化

- ・ 新たな研究成果の教育への活用

又は

➤ 実務の実績と「新実績(継続・発展)」の必須化

- ・ 新たな実務成果の教育への活用